

平成 24 年 8 月 6 日

生駒市教育長 早川 英雄 様

生駒市議会公明党  
代表 下村 晴意

## いじめ防止対策強化を求める要望書

滋賀県大津市で昨年10月に中学2年生が飛び降り自殺した問題について、いじめの実態に対する学校及び市教育委員会、さらに地元警察における対応等の課題が指摘されております。

いじめに対しては、いじめる側が 100%悪いという考えを、子ども、教職員はじめすべての人に浸透させていくとともに、早期にいじめの芽を摘み、最悪の事態を回避する具体的な対策に取り組むことが必要です。

生駒市においては、スクールカウンセラーの配置やアンケート調査の実施等、積極的に取り組まれていることは承知しておりますが、今の子どもたちのいじめの現実、大人が知っているいじめとあまりにも大きなギャップがあり、また、残酷で巧妙であると言われており、見逃されてしまうことも懸念されます。こうしたいじめを悲観した子どもが、夏休みの終わりごろ自殺した事例があり、報道の影響により同じような問題を抱えた子どもの自殺が引き続く「群発自殺」も懸念されることから、今こそ、いじめ対策の取組みを強化すべきと考えます。

いじめの撲滅にあたっては、教育委員会が毅然とした態度で臨み、学校を指導・監督することが必要不可欠です。また、最悪の事態を回避するために、学校現場がいじめを察知した際には、それを隠すことなく、速やかに事実を確認し、教育委員会へ報告する仕組みを築く必要があります。

将来を担う子ども達の健全育成のため、また、保護者が最愛の子どもを安心して学校へ通わせることができる環境を形成するため、下記項目について実行されるよう強く求めます。

### 記

- 1、本市における、いじめ問題の対応について、市民・保護者への周知を図ること。
- 1、いじめの実態を正しく把握するため、積極的な実態調査を継続的に行うこと。調査に当たっては、二次的ないじめ拡大等が起こらないよう配慮すること。
- 1、校長が中心となり、学校全体でいじめの兆候を早期に発見できる体制を構築すること。
- 1、被害者の保護、加害者への措置、両者の心のケア、再発防止といった、いじめ対処の原則を再度徹底すること。
- 1、教職員・校長・教育委員会がいじめに関する情報を共有し、解決に向けて対策を講ずること。

以 上